

リハビリテーション科がおすすめする初期臨床研修プラン

リハビリテーション科は、新生児から超高齢者まで、手足の運動機能、脳、心臓、呼吸器、そして加齢に伴う体の変化など、医療のほとんどすべての領域を対象に診療にあたっています。幅広い診療科と連携しながら障害の予防と治療を行えるリハビリテーション科専門医を育成し、北海道という広大な医療圏に標準的なリハビリテーション医療を提供できる医師の育成に注力します。

1. 研修病院の選択

A・B・Cコースのどのコースにおいても、1年目に可能であれば内科系や救急などの医師として基礎となる領域をしっかりと学ぶことをお勧めします。2年目は1年目で経験できなかった必修領域を選択し、必修の外科の他、整形外科や脳神経外科の研修を経験していただき残った期間をリハ科研修としていただくことをお勧めします。

例)

1年目：循環器 12週、呼吸器 12週、代謝内分泌 12週、救急 12週、外科 4週

2年目：整形外科 or/and 脳神経外科 12週、小児 4週、産婦 4週、精神 4週、地域 4週、残りの期間をリハビリテーション科として自由選択 12～24週

* 必修の内科や外科は2年目を含んで選択し、1年目に精神科や小児科などの他の必修科を選択しても構いません。

* 初期臨床研修期間における教育関連施設はありません。リハビリテーション科研修を希望される方は自由選択で、札幌医大リハビリテーション科を希望し、4週を1単位とし最大12単位まで選択し研修することが可能です。

2. リハビリテーション科医になるために研修が望ましい診療科

リハビリテーション科としては、外科系では必修の外科研修に加え、可能であれば整形外科や脳神経外科を選択すると良いと思います。整形外科では運動器診察の手技が身につけられ、手術を見ることで術式や解剖の知識が得られます。脳神経外科では脳血管障害の加療を中心に、初期対応を学ぶ機会を持つと良いと思います。内科系では呼吸器内科や循環器内科、内分泌内科を選択すると良いと思います。

リハビリテーション科専門研修カリキュラムでは1年程度、連携施設で主治医として担当患者さんを受け持つことになるため、担当患者さんの高血圧や糖尿病、脂質異常症などの内科的併存疾患の服薬コントロールを身につけておくことが望ましいです。また担当患者さんが肺炎や尿路感染などによって発熱し、体調を崩した際の対応も求められるため、抗菌薬の選択や救急での初期対応を初期臨床研修のうちに経験しておくことが望ましいです。

3. コース選択

Aコース：大学病院から研修を開始するコース

1 年次 大学病院												
4 週	8 週	12 週	16 週	20 週	24 週	28 週	32 週	36 週	40 週	44 週	48 週	52 週
必修 内科 (循環器・代謝内分泌)						必修 外科	必修 小児科	必修 産婦人科	選択 リハビリテーション科			必修 精神科
2 年次 協力型研修病院												
4 週	8 週	12 週	16 週	20 週	24 週	28 週	32 週	36 週	40 週	44 週	48 週	52 週
必修 救急			選択 整形外科			必修 地域医療	選択 内科 (呼吸器)			選択 脳神経外科		

Bコース：市中病院から研修を開始するコース

1 年次 協力型研修病院												
4 週	8 週	12 週	16 週	20 週	24 週	28 週	32 週	36 週	40 週	44 週	48 週	52 週
必修 内科 (呼吸器)			必修 内科 (循環器)			選択 内科 (代謝・内分泌)			必修 救急			必修 小児科
2 年次 大学病院												
4 週	8 週	12 週	16 週	20 週	24 週	28 週	32 週	36 週	40 週	44 週	48 週	52 週
選択 外科 (整形)			選択 外科 (脳神経)			必修 外科	必修 産婦人科	必修 精神科	必修 地域医療	選択 リハビリテーション科		

Cコース：大学中心に研修したいとき

1 年次 大学病院												
4 週	8 週	12 週	16 週	20 週	24 週	28 週	32 週	36 週	40 週	44 週	48 週	52 週
選択 内科 (呼吸器)			必修 内科 (循環器・代謝内分泌)						必修 救急			必修 小児科
2 年次 大学病院												
4 週	8 週	12 週	16 週	20 週	24 週	28 週	32 週	36 週	40 週	44 週	48 週	52 週
選択 外科 (脳神経／整形)			必修 外科	必修 産婦人科	必修 精神科	必修 地域医療	選択 リハビリテーション科					